

高校入試で、家族と共に弁当を食べる受験生ら
17日午後、宮古島の宮古高校



愛情弁当で突破へ

宮古 試験場で家族と昼食

【宮古島】県立高校の入試が始まった7日、宮古島市では受験生が家族と共に昼食の弁当を食べた。宮古高では、午前11時半ごろから受験生の家族や親族が集まった。午前の試験を終えた受験生は、中庭や体育館、教室で愛情のこもった弁当を食べ、午後に向けて気合を入れ直した。



この習慣は、同市の高校の近くに飲食店が少なかった時代に、家に帰って昼食を取れない旧町村部の受験生のために家族が始め、毎年恒例の行事となっている。